



re:Post Private 管理ガイド

AWS re:Post Private



AWS re:Post Private: re:Post Private 管理ガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

AWS re:Post Private とは	1
re:Post Private にアクセスする	1
re:Post Private 料金	1
re:Post Private の使用を開始する方法	1
プライベート re:Post を設定する	2
外観をカスタマイズする	2
カスタムタグ、カスタムトピック、ブロックされた用語を追加する	2
目的のトピックを選択する	4
プロフィールを完了する	6
プライベート re:Post を管理する	7
ブランドを更新する	7
ユーザーアカウントを非アクティブ化する	8
ユーザーアカウントをアクティブ化する	8
カスタムタグを追加する	9
カスタムトピックを追加する	10
ブロックされた用語を追加する	11
カスタムタグを更新する	11
カスタムトピックを更新する	12
カスタムタグを削除する	12
カスタムトピックを削除する	13
ブロックされた用語を削除する	13
目的のトピックを選択する	14
人工知能統合を設定する	14
re:Post エージェントを有効にする	14
インテリジェント検索を有効にする	15
ユーザーロール	16
ドキュメント履歴	17
.....	xviii

AWS re:Post Private とは

AWS re:Post Private は、エンタープライズサポートまたはエンタープライズオンランプサポートプランを持つエンタープライズ向けの AWS re:Post のプライベートバージョンです。クラウドの導入を加速し、デベロッパーの生産性を向上させるための知識とエキスパートへのアクセスを提供します。組織固有のプライベート re:Post を使用すると、組織固有のデベロッパーコミュニティを構築して、大規模な効率を高め、貴重なナレッジリソースにアクセスできます。さらに、re:Post Private は信頼できる AWS 技術コンテンツを一元化し、チームが内部および AWS とコラボレーションして技術的な障害を取り除き、イノベーションを加速し、クラウド内でより効率的にスケールする方法を改善するプライベートディスカッションフォーラムを提供します。

詳細については、[「AWS re:Post Private」](#) を参照してください。

re:Post Private にアクセスする

re:Post プライベートアプリケーション管理者は、プライベート re:Post アプリケーション管理ページを使用してユーザーインターフェイスをカスタマイズし、組織用に起動します。プライベート re:Post アプリケーションの管理者は、ブランドをカスタマイズしたり、コンテンツを分類するためのタグを追加したり、開発者がトレーニングコンテンツと技術コンテンツを自動的に入力するための関心のあるトピックを選択したりできます。また、コラボレーションを強化するために、プライベート re:Post に参加するようにユーザーを招待することもできます。詳細については、[「プライベート re:Post を管理する」](#) を参照してください。

re:Post Private 料金

re:Post Private の料金階層については、[「料金表」](#) を参照してください。

re:Post Private の使用を開始する方法

AWS re:Post Private コンソール管理者のみが、アプリケーション管理者としてプライベート re:Post に参加するように招待できます。re:Post Private コンソール管理者がプライベート re:Post を作成し、自分と他のユーザーをプライベート re:Post に参加するように招待します。コンソールの管理者は、プライベート re:Post を起動するために必要な情報を含む E メールメッセージを送信します。

プライベート re:Post を設定する

IAM アイデンティティセンターの認証情報を使用してプライベート re:Post アプリケーションに初めてサインインするときは、プライベート re:Post へようこそページでセットアップを開始するを選択します。このセクションでは、新しいプライベート re:Post を設定する方法について説明します。

トピック

- [プライベート re:Post の外観をカスタマイズする](#)
- [プライベート re:Post にカスタムタグ、カスタムトピック、ブロックされた用語を追加する](#)
- [選択対象トピックを選択する](#)

プライベート re:Post の外観をカスタマイズする

プライベート re:Post の外観をカスタマイズするには、次の手順に従います。


1. 外観のカスタマイズページのタイトルに、プライベート re:Post のタイトルを入力します。これは、プライベート re:Post ホームページの上部に表示されるタイトルです。
2. 説明 に、re:Post Private ユーザーへの挨拶メッセージを入力します。ユーザーがプライベート re:Post にサインインすると、このメッセージが re:Post Private ホームページに表示されます。
3. ロゴ で、[ロゴの変更](#) を選択し、イメージをアップロードします。このイメージの最大サイズは 2 MiB です。サポートされているファイルタイプは、.jpg、.peg、.png です。このロゴはプライベート re:Post の左上に表示され、解像度は 150 X 50 です。
4. カラースキームのプライマリカラーとボタンカラーで、色を選択します。選択したプライマリ色は、プライベート re:Post のヘッダー色として使用されます。選択したボタンの色は、プライベート re:Post 内のボタンの色として使用されます。
5. [Save and continue] を選択します。

プライベート re:Post にカスタムタグ、カスタムトピック、ブロックされた用語を追加する

プライベート re:Post の管理者は、プライベート re:Post のカスタムタグ、カスタムトピック、ブロックされた用語を追加できます。

プライベート re:Post に適用されるカスタムタグを追加するには、次の手順に従います。

1. 「カスタムタグ、トピック、ブロックされた用語の追加」ページで「タグ」を選択し、「タグの作成」を選択します。
2. タグの作成 ダイアログボックスで、タグを入力します。続いて、[作成] を選択します。

 Note


- AWS または を使用してタグを開始することはできませんAmazon。
- 重複するタグは入力できません。

追加したタグは、タグセクションの下のリストに表示されます。プライベート re:Post のユーザーは、プライベート re:Post に投稿する質問、記事、選択にこれらのカスタムタグを追加できます。

プライベート re:Post にカスタムトピックを追加するには、次の手順に従います。

1. 「カスタムタグ、トピック、ブロックされた用語の追加」ページで「トピック」を選択し、「トピックの作成」を選択します。
2. 新しいトピックの作成ダイアログボックスで、次の操作を行います。

名前に、カスタムトピックの名前を入力します。

 Note

- トピックは、AWS または で開始することはできませんAmazon。
- 重複するトピックは入力できません。

簡単な説明には、トピックの説明を入力します。

完全な説明には、トピックの詳細な説明を入力します。

含まれているタグで、このトピックに含めるすべてのタグを選択します。カスタムトピックに含めるカスタムタグのみを選択できます。

[Create] (作成) を選択します。

追加したトピックは、トピックセクションのリストに表示されます。ユーザーがカスタムトピックに含めたタグで質問、記事、または選択を投稿した場合、プライベート re:Post はこのコンテンツにトピックを追加します。

ブロックされた用語をプライベート re:Post に追加するには、次の手順に従います。

1. ブロックされた用語を選択します。次に、ブロックされた用語の追加を選択します。
2. ブロックされた用語を追加？ ダイアログボックスで、プライベート re:Post ユーザーの使用をブロックするテキストを入力します。次に、[Add] (追加) を選択します。

追加した用語は、ブロックされた用語セクションのリストに表示されます。ユーザーがプライベート re:Post コンテンツでブロックされた用語を使用しようとする、コンテンツを編集して用語を削除するよう求める警告メッセージが表示されます。

3. [Continue] (続行) を選択します。

選択対象トピックを選択する

選択は、ユースケース、テクノロジードメイン、業界、または特定の問題領域に関連するラーニングパスまたは厳選されたコンテンツアセットのセットです。これは、AWS サービス内の組織のクラウドユースケースに固有のナレッジアセットのコレクションであり、AWS re:Post、ナレッジセンター、AWS ブログ、AWS ドキュメントなどの AWS ソースからの高品質のコンテンツが含まれています。

選択対象トピックを選択するには、次の手順に従います。

1. 関心のあるトピックの選択ページで、プライベート re:Post のホームページに表示する選択対象トピックを選択します。

ドロップダウンリストを使用して、目的のトピックを選択することもできます。

2. プライベート re:Post を起動を選択します。

選択したトピックのすべての選択が、プライベート re:Post のホームページに追加されます。

Important

コンソール管理者がユーザーにオンボードした後、プライベート re:Post が起動され、使用できるようになります。詳細については、[「ユーザーとグループをプライベート re:Post に](#)

[招待する](#)」を参照してください。プライベート re:Post のユーザーは、オンボーディング Eメールの情報を使用して、起動後にプライベート re:Post にサインインします。

プライベート re:Post プロファイルを完了する

プライベート re:Post を設定して起動したら、プロフィールを完了する必要があります。

プロフィールを完了するには、次の手順に従います。

1. ホームページのバナーで、プロフィールの入力を選択します。
2. 画面名 に、表示名を入力します。この名前はすべての投稿に表示されます。
3. 通知用の E メールには、E メールアドレスを入力します。

Note

組織によって許可リストに登録されている会社の E メールアドレスのいずれかを使用して、いることを確認してください。

4. (オプション) 名と姓に、名と姓を入力します。
5. インターフェイス言語と通知言語 で、言語を選択します。
6. コンテンツ言語 で、re:Post Private のコンテンツに追加の言語オプションを選択します。
7. プロファイルの完了 を選択します。

プロフィールを完了すると、検証 E メールが送信されます。E メールで、Eメールの検証を選択します。

プライベート re:Post で、サービス続行を選択してプライベート re:Post の使用を開始します。

Note

プロフィールを更新するには、ユーザープロフィールを選択し、設定、必要に応じて更新、プロフィールの更新を選択します。

AWS re:Post Private でプライベート re:Post を管理する

このセクションでは、プライベート re:Post を管理する方法について説明します。

トピック

- [プライベート re:Post のブランドを更新する](#)
- [プライベート re:Post でユーザーアカウントを無効にする](#)
- [プライベート re:Post でユーザーアカウントをアクティブ化する](#)
- [プライベート re:Post にカスタムタグを追加する](#)
- [プライベート re:Post にカスタムトピックを追加する](#)
- [プライベート re:Post にブロックされた用語を追加する](#)
- [プライベート re:Post のカスタムタグを更新する](#)
- [プライベート re:Post のカスタムトピックを更新する](#)
- [プライベート re:Post からカスタムタグを削除する](#)
- [プライベート re:Post からカスタムトピックを削除する](#)
- [プライベート re:Post からブロックされた用語を削除する](#)
- [プライベート re:Post の選択対象トピックを選択する](#)
- [プライベート re:Post の人工知能統合を設定する](#)

プライベート re:Post のブランドを更新する

プライベート re:Post の既存のブランドを更新するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. ブランディングタブを選択します。
3. [タイトル] に、タイトルを入力します。これにより、プライベート re:Post. ホームページの上部に表示されるタイトルが更新されます。
4. 説明 に、re:Post Private ユーザーに挨拶するメッセージを入力します。ユーザーがプライベート re:Post にサインインすると、このメッセージがホームページに表示されます。
5. ロゴ で、ロゴの変更 を選択し、イメージをアップロードします。イメージの最大サイズは 2 MiB です。サポートされているファイルタイプは、.jpg、.peg、および .png です。このロゴはプライベート re:Post の左上に表示され、解像度は 150 X 50 です。

6. カラースキームの「プライマリカラー」と「ボタンカラー」で、色を選択します。選択したプライマリ色は、プライベート re:Post のヘッダー色として使用されます。選択したボタンの色は、プライベート re:Post 内のボタンの色として使用されます。
7. [Update preferences] を選択します。

プライベート re:Post でユーザーアカウントを無効にする

Note

既にプライベート re:Post にサインインしているユーザーのみを非アクティブ化できます。

プライベート re:Post でユーザーアカウントを非アクティブ化するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. アクセス許可を選択して、プライベート re:Post のユーザーのリストを表示します。
3. 非アクティブ化するユーザーを選択します。

検索バーを使用してユーザーを検索できます。

4. アクセス許可の管理を選択し、アカウントの非アクティブ化を選択します。

非アクティブ化されたユーザーは、「ユーザーアクセス許可の設定」セクションでも表示できます。このユーザーは DEACTIVATED とマークされます。

ユーザーを非アクティブ化すると、ユーザーはプライベート re:Post にサインインできなくなります。ユーザーは翌月の請求に含まれません。ユーザーがサインアウトした後、プライベート re:Post セッションは最大 8 時間継続することがあります。プライベート re:Post からユーザーをすぐに削除する必要がある場合は、IAM アイデンティティセンターを使用する必要があります。詳細については、[「プライベート re:Post からユーザーまたはグループを削除する」](#)を参照してください。

プライベート re:Post でユーザーアカウントをアクティブ化する

Note

プライベート re:Post で既に非アクティブ化したユーザーのみをアクティブ化できます。

プライベート re:Post で非アクティブ化されたユーザーアカウントをアクティブ化するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. アクセス許可を選択して、プライベート re:Post のユーザーのリストを表示します。

非アクティブ化したユーザーは DEACTIVATED とマークされます。

3. アクティブ化するユーザーを選択します。

検索バーを使用してユーザーを検索できます。

4. アクセス許可の管理を選択し、アカウントのアクティブ化を選択します。

選択したユーザーはすぐにアクティブ化されます。プライベート re:Post でアカウントがアクティブ化されたことをユーザーに通知することを選択できます。ユーザーはプライベート re:Post にサインインし、すべてのリソースにアクセスできます。ユーザーは、現在およびそれ以降の月の請求に含まれます。

プライベート re:Post にカスタムタグを追加する

プライベート re:Post 管理者として、プライベート re:Post のユーザーが使用できるカスタムタグを追加できます。

タグは、プライベート re:Post に投稿されたコンテンツに割り当てることができるラベルです。コンテンツにタグを付けると、タグメニューを使用して簡単に見つけることができます。タグを使用して検索結果をフィルタリングできます。また、特定のタグに従って、関連するコンテンツに関する最新情報を常に把握することもできます。

プライベート re:Post にタグを追加するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. タグを選択し、タグの作成を選択します。
4. タグの作成 ダイアログボックスに、タグを入力します。続いて、[作成] を選択します。

Note

- タグを AWS または で開始することはできません Amazon。

- 重複するタグを入力することはできません。

追加したタグは、タグセクションのリストに表示されます。プライベート re:Post のユーザーは、プライベート re:Post に投稿する質問、記事、選択にこれらのカスタムタグを追加できます。

プライベート re:Post にカスタムトピックを追加する

プライベート re:Post 管理者として、プライベート re:Post のユーザーが使用できるカスタムトピックを追加できます。

トピックは、プライベート re:Post に投稿されたコンテンツに割り当てることができる、キュレートされたドメインです。トピックを使用すると、関連するタグのセットから集約されたコンテンツにアクセスできます。

プライベート re:Post にトピックを追加するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. [Topics] (トピック) を選択してから、[Create topic] (トピックの作成) を選択します。
4. 新しいトピックの作成ダイアログボックスで、次の操作を行います。

Name に、カスタムトピックの名前を入力します。

Note

- トピックを AWS または で開始することはできません Amazon。
- 重複するトピックは入力できません。

簡単な説明には、トピックの説明を入力します。

完全な説明には、トピックの詳細な説明を入力します。

含まれているタグで、このトピックに含めるすべてのタグを選択します。カスタムトピックに含めるカスタムタグのみを選択できます。

[作成] を選択します。

追加したトピックは、トピックセクションのリストに表示されます。ユーザーがカスタムトピックに含めたタグで質問、記事、または選択を投稿した場合、プライベート re:Post はこのコンテンツにトピックを追加します。

また、追加したカスタムトピック用に新しいコミュニティグループが作成されます。この新しいコミュニティグループは、コミュニティグループタブに表示されます。

プライベート re:Post にブロックされた用語を追加する

プライベート re:Post 管理者として、ユーザーがコンテンツで を使用することを制限する用語をブロックできます。

ブロックされた用語をプライベート re:Post に追加するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. ブロックされた用語を選択します。次に、ブロックされた用語の追加を選択します。
4. ブロックされた用語の追加? ダイアログボックスに、プライベート re:Post ユーザーの使用をブロックするテキストを入力します。次に、[Add] (追加) を選択します。

追加した用語は、ブロックされた用語セクションのリストに表示されます。ユーザーがプライベート re:Post コンテンツでブロックされた用語を使用しようとする、コンテンツを編集して用語を削除するように求める警告メッセージが表示されます。

プライベート re:Post のカスタムタグを更新する

AWS re:Post プライベート管理者は、プライベート re:Post のカスタムタグを更新できます。

プライベート re:Post のタグを更新するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. リストから、更新するタグを選択します。
4. タグの編集 を選択します。
5. タグの編集ダイアログボックスで、既存のタグを削除し、新しいタグを入力します。次に、[変更の保存] を選択します。

Note

- タグを AWS または で開始することはできません Amazon。
- 重複するタグを入力することはできません。

更新されたタグは、タグセクションの下に表示されます。

プライベート re:Post のカスタムトピックを更新する

AWS re:Post プライベート管理者は、プライベート re:Post のカスタムトピックを更新できます。

プライベート re:Post のトピックを更新するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. トピックを選択します。
4. リストから、更新するトピックを選択します。
5. 編集トピックを選択します。
6. トピックの編集ダイアログボックスで、必要に応じてトピックの詳細を更新します。次に、[変更の保存] を選択します。

Note

- トピックを AWS または で開始することはできません Amazon。
- 重複するトピックは入力できません。

更新されたトピックは、トピックセクションの下に表示されます。

プライベート re:Post からカスタムタグを削除する

AWS re:Post プライベート管理者は、プライベート re:Post からカスタムタグを削除できます。

プライベート re:Post から既存のタグを削除するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. [タグ] を選択します。
4. リストから、プライベート re:Post から削除するタグを選択します。
5. タグの削除を選択します。

削除したタグは、タグセクションに表示されなくなります。

プライベート re:Post からカスタムトピックを削除する

AWS re:Post プライベート管理者は、プライベート re:Post から既存のカスタムトピックを削除できます。

プライベート re:Post からカスタムトピックを削除するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. トピックを選択します。
4. リストから、プライベート re:Post から削除するトピックを選択します。
5. トピックの削除を選択します。

削除したトピックは、トピックセクションに表示されなくなります。

プライベート re:Post からブロックされた用語を削除する

AWS re:Post プライベート管理者は、プライベート re:Post からブロックされた用語を削除できます。

プライベート re:Post からブロックされた用語を削除するには、次の手順に従います。

1. re:Post Private ウェブアプリケーションで、ユーザープロフィールを選択し、管理を選択します。
2. コンテンツ分類を選択します。
3. ブロックされた用語を選択します。

4. リストから、プライベート re:Post から削除する用語を選択します。
5. ブロックされた用語の削除を選択します。

削除したブロックされた用語は、ブロックされた用語セクションの リストに表示されなくなります。

プライベート re:Post の選択対象トピックを選択する

選択対象トピックを選択するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションで、ユーザープロフィールを選択し、管理を選択します。
2. 目的のトピックを選択します。
3. リストから、ホームページに表示する選択対象トピックを選択します。

ドロップダウンリストを使用して、目的のトピックを選択することもできます。

4. [更新] を選択します。

選択したトピックを含むすべての選択が、プライベート re:Post のホームページに追加されます。

プライベート re:Post の人工知能統合を設定する

Note

これらの設定は、人工知能機能がプライベート re:Post で現在利用可能な場合にのみ設定できます。これらの機能は、組織の設定またはプライベート re:Post をホスト AWS リージョンする が原因で、プライベート re:Post で使用できない場合があります。

re:Post エージェントを有効にする

プライベート re:Post で re:Post エージェントを有効にするには、次の手順を実行します。

1. プライベート re:Post アプリケーションで、ユーザープロフィールを選択し、管理を選択します。
2. 人工知能を選択します。
3. re:Post エージェントを有効にするをオンにします。

インテリジェント検索を有効にする

この設定により、生成 AI によって作成されたレスポンスをプライベート re:Post の検索結果に含めることができます。

プライベート re:Post でインテリジェント検索を有効にするには、次の手順を実行します。

1. プライベート re:Post アプリケーションで、ユーザープロフィールを選択し、管理を選択します。
2. 人工知能を選択します。
3. AI が生成したレスポンスを検索に含めるをオンにします。

AWS re:Post Private のユーザーロール

AWS re:Post Private では、次のユーザーロールを定義します。

- re:Post Private コンソール管理者: re:Post Private でプライベート re:Posts を作成および削除する管理者権限を持つユーザー。コンソール管理者は、re:Post Private ユーザーを追加または削除したり、これらのユーザーのロールを追加または削除したりすることもできます。詳細については、[「プライベート re:Post のユーザーにロールを割り当てる」](#)を参照してください。
- re:Post Private application administrator: re:Post Private 内の特定のプライベート re:Post の管理権限を持つユーザー。re:Post Private 管理者は、プライベート re:Post 設定をカスタマイズし、プライベート re:Post でユーザーを非アクティブ化できます。re:Post Private 管理者は、プライベート re:Post 内でカスタムタグを追加または削除することもできます。
- ユーザー: すべてのコンテンツを表示し、プライベート re:Post で他のユーザーとコラボレーションできるユーザー。re:Post Private 管理者によって設定されたユーザーアクセス許可に基づいて、一部のユーザーには記事の公開、選択の作成、ケースの作成を行うアクセス許可があります サポート。詳細については、[「プライベート re:Post のユーザーにロールを割り当てる」](#)を参照してください。

re:Post Private Administration Guide のドキュメント履歴

次の表に、AWS re:Post Private のドキュメントリリースを示します。

変更	説明	日付
更新	クエリでインテリジェント検索を有効にする方法に関する情報を追加しました。	2025 年 6 月 24 日
更新	人工知能機能の設定に関するセクションを追加しました	2025 年 5 月 13 日
更新	プライベート re:Post でカスタムピックを追加、更新、削除する方法に関するセクションを追加しました。	2024 年 10 月 22 日
ガイド構造の点検と改善	ガイドの構造がレビューされ、特定のシナリオの情報を見つけることに関連するカスタマーエクスペリエンスを向上させるための改善が行われました。	2024 年 9 月 6 日
更新	プライベート re:Post でユーザーを非アクティブ化およびアクティブ化する方法に関するセクションを追加しました。	2024 年 5 月 7 日
初回リリース	re:Post Private 管理ガイドの初回リリース	2023 年 11 月 26 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。